

鈴木みどり 議員



県道子宝愛西線の安全対策について

問

道路の状況について聞く。

- (1) 道路の特徴である、うねりを市は把握しているか。
- (2) 市の対応については。
- (3) 県道に対する市の考えは。
- (4) 通学路として利用している横断歩道にカラーペイント表示をしてはどうか。
- (5) 学童の通行部分の色分け化について考えているか。
- (6) 交通規制(追い越し禁止区域の延長)を要望する。

それぞれの管理者に 対し、要望しつつ

答 土木課長

(1) 23年3月、県がひび割れ、輪だち掘れ等の2項目の計測を実施し、報告を受

けている。また、市も現地を確認している。

- (2) 計画的な修繕を強く要望していく。
- (3) 約240m、歩道の未整備区間がある。要因として公図と現地に相違点があるなど解決に時間を要するが、再開に向け愛知県とともに取り組んでいきたい。

答 教育部長

(4) 道路交通法施行令により公安委員会が管理するため、県や市として横断歩道自体の整備は、難しいと考える。ただし、道路管理者と通学路点検を実施し、海部建設事務所が安全対策として、横断歩道の手前に注意喚起の文字表示を講じる予定である。

(5) 通学路を色分けし、安全策を講じている箇所が一

◀県道子宝愛西線



使用済てんぷら油を リサイクル活用しては

問

資源ごみの取り組みについて聞く。

- (1) 市は、資源再生の推進

と地球環境保全にどのように取り組んでいるか。

(2) 廃食用てんぷら油を回収しリサイクル活用する考えはあるか。

回収に可能な環境を 整え実施していきたい

答 環境課長

(1) 資源再生では、新聞紙、空き缶、ペットボトル等を回収し、ごみの減量を図るとともに、資源の保護、再生利用の推進等に取り組んでいる。

地球環境保全では、市民の環境美化運動の促進、学校での環境教育の推進等に取り組んでいる。

近年では太陽光発電の普及促進を図っている。

(2) 現在、保育所、小中学校の給食用廃食用油はバイオ燃料の原料にしている。今後は、一般家庭においても回収方法など、必要な環境を整え実施していきたい。